

11 危害・危険に関する相談

(1) 危害に関する相談

「危害」とは、商品・役務・設備に関連して、身体にけが、病気等の疾病（危害）を受けたという相談であるが、15年度の「危害」に関する相談は640件あり、前年度（657件）よりも若干減少している。

被害者の属性をみると、性別では「女性」が約8割（78.9%）を占め、年代別では「壮年」が60.5%、「若者」が24.1%を占めている。職業別では、「給与生活者」が47.5%、「家事従事者」が31.1%を占めている。

危害内容は、「皮膚障害」（243件）が最も多く、約4割を占めている。

危害部位は「腹部」（69件）が最も多く、以下「大腿・下腿」（47件）、「全身」（42件）と続いている。

危害程度は、「医者にかからず」（164件）が最も多く、「治療1週間未満」（143件）といった危害の比較的軽いものが多い。しかし、「治療1か月以上」が76件あることから重症につながった危害情報も寄せられていることがわかる。危害の原因となった商品・役務は、「化粧品」（86件）、「エステティックサービス」（78件）、「医療」（52件）、「健康食品」（39件）等となっており、前年度と同様の傾向となっている。

表 - 62 危害に関する相談内容別件数

単位：件

項 目		15 年 度	14 年 度	
相 談	件 数	640	657	
被 害 者	性 別	男 性	131	147
		女 性	490	489
		不 明	19	21
		若 者（29歳以下）	140	204
	年 代 別	壮 年（30～59歳）	351	339
		高 齢 者（60歳以上）	89	69
		不 明	60	45
	職 業 別	給 与 生 活 者	266	278
		自 営 ・ 自 由 業	34	37
		家 事 従 事 者	174	178
学 生		28	34	
無 職		58	62	
そ の 他 ・ 不 明		80	68	
危 害 内 容	皮 膚 障 害	243	226	
	その他の傷病および諸症状	81	77	
	熱 傷	69	85	
	刺 傷 ・ 切 傷	62	61	
	消 化 器 障 害	49	74	
	擦 過 傷 ・ 挫 傷 ・ 打 撲 傷	48	52	
	骨 折	22	14	
	呼 吸 器 障 害	18	12	
	中 毒	14	13	
	感 覚 機 能 の 低 下	12	12	
	神 経 ・ 脊 髄 の 損 傷	4	7	
	脱 臼 ・ 捻 挫	4	5	
	切 断	4	-	
	筋 ・ 腱 の 損 傷	2	2	
	凍 傷	2	1	
	内 臓 損 傷	-	6	
	頭 蓋（内）損 傷	-	1	
	窒 息	-	1	
	感 電 障 害	-	-	
	不 明	6	8	

  

項 目		15 年 度	14 年 度
危 害 部 位	腹 部	69	91
	大 腿 ・ 下 腿	47	46
	全 身	42	35
	腕 ・ 肩	39	46
	眼	39	40
	顔 面	37	134
	頭 部	37	41
	口 ・ 口 腔 ・ 歯	34	41
	胸 部 ・ 背 部	33	21
	手 指	28	26
	足 首 から 先	23	30
	鼻 ・ 咽 喉	19	14
	手 掌 ・ 手 背（手首）	17	16
	腰 部 ・ 臀 部	16	12
	首	12	17
	耳 ・ 平 衡 器	11	7
	気 道	5	4
	会 陰 部	2	3
	食 道	1	2
不 明	20	31	
危 害 程 度	治 療 1 週 間 未 満	143	159
	1 ～ 2 週 間	91	74
	3 週 間 ～ 1 ヶ 月	26	31
	1 ヶ 月 以 上	76	64
	死 亡	-	1
	不 明	140	117
主 な 商 品 等	医 者 に か か ら ず	164	211
	化 粧 品	86	74
	エ ス テ ヲ ッ ク サ ー ビ ス	78	76
	医 療	52	59
健 康 食 品	39	57	

(2) 危険に関する相談

「危険」とは、危害を受けたわけではないが、そのおそれがある相談である。15年度の「危険」に関する相談件数は129件であり、前年度と比べてやや減少している。

当事者の属性についてみると、性別では女性のほうが若干多く（57.7%）、年代別では「壮年」が約7割（65.5%）を占めている。次いで「若者」が19.0%、「高齢者」が15.5%となっている。

主な危険内容としては、「発火・引火」が最も多く（22件）、「過熱・こげる」（16件）、「発煙・火花」（15件）と続く。

主な商品・役務は、「電気暖房機器」が13件と最も多く、「自動車」が9件と続いている。

表 - 63 危険に関する相談内容別件数

単位：件

項 目		15 年 度	14 年 度
相 談 件 数		129	147
危 険 内 容	発 火 ・ 引 火	22	34
	過 熱 ・ こ げ る	16	19
	発 煙 ・ 火 花	15	17
	機 能 故 障	4	15
	異 物 の 混 入	10	14
	破 損 ・ 折 損	11	13
	火 災	9	8
	破 裂	14	4
	部 品 脱 落	3	4
	化学物質による危険	5	4
	腐 敗 ・ 変 質	1	4
	燃 料 ・ 液 漏 れ 等	1	3
	転 落 ・ 転 倒 ・ 不 安 定	4	2
	操 作 ・ 使 用 性 の 欠 落	5	2
	点 火 ・ 燃 焼 ・ 消 火 不 良	2	1
	バ リ ・ 鋭 利	0	-
	ガ ス 漏 れ	0	-
	漏 電 ・ 電 波 等 の 障 害	1	-
	異 物 の 侵 入	10	-
	ガ ス 爆 発	0	-
そ の 他	4	3	
商 品 等	電 気 暖 房 機 器	13	6
	自 動 車	9	30

項 目		15 年 度	14 年 度
性 別	男 性	52	77
	女 性	71	59
	団 体	1	3
	不 明	5	8
年 代 別	若 者 (29歳以下)	22	13
	壮 年 (30～59歳)	76	90
	高 齢 者 (60歳以上)	18	20
	不 明	13	24
職 業 別	給 与 生 活 者	47	65
	自 営 ・ 自 由 業	9	13
	家 事 従 事 者	43	37
	学 生	5	2
	無 職	8	10
	そ の 他 ・ 不 明	17	20

## 12 商品テスト等の状況

表 - 64 商品テスト・技術回答の件数

単位：件

年 度	全相談件数	(a)のうち テスト等 実施件数										
		食料品	住居品	光 水	熱 品	被服品	保 健 衛生品	教 養 娯楽品	車両・ 乗り物	土地・ 建物	その他	
11年度	92,383 (90.0%)	テ ス ト	255 (0.3%)	37	27	-	153	5	11	7	14	1
		技 術 回 答	637 (0.7%)	86	114	9	291	25	64	7	23	18
		計	892 (1.0%)	123	141	9	444	30	75	14	37	19
12年度	98,422 (87.0%)	テ ス ト	290 (0.3%)	18	41	4	166	5	12	2	41	1
		技 術 回 答	609 (0.6%)	68	124	3	251	25	95	3	23	17
		計	899 (0.9%)	86	165	7	417	30	107	5	64	18
13年度	102,755 (64.0%)	テ ス ト	245 (0.2%)	16	30	-	151	5	11	3	25	4
		技 術 回 答	466 (0.5%)	41	99	4	179	14	90	10	15	14
		計	711 (0.7%)	57	129	4	330	19	101	13	40	18
14年度	113,570 (71.0%)	テ ス ト	162 (0.1%)	6	17	-	122	8	5	-	4	-
		技 術 回 答	315 (0.3%)	35	58	4	126	19	48	10	10	5
		計	477 (0.4%)	41	75	4	248	27	53	10	14	5
15年度	160,817 (100.0%)	テ ス ト	100 (0.1%)	2	20	-	67	4	5	1	1	-
		技 術 回 答	278 (0.2%)	21	62	3	113	19	42	3	11	4
		計	378 (0.2%)	23	82	3	180	23	47	4	12	4